

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 美濃和紙原料の供給安定化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 技術支援係 電話番号：058-272-1111(内 3096)

E-mail : c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,883 千円 (前年度予算額：2,707 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,707	947	0	0	0	0	0	0	1,760
要求額	2,883	1,194	0	0	0	0	0	0	1,689
決定額	2,883	1,194	0	0	0	0	0	0	1,689

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・美濃和紙は「薄い、丈夫、漉（すき）ムラがない」といった特長を持つ「清流の国ぎふ」が育んだ伝統的工芸技術である。
- ・美濃和紙の中でもコウゾ繊維だけを原料とし伝統的製法で作られる「本美濃紙」は、ユネスコの政府間委員会で無形文化遺産「和紙日本の手漉和紙技術」として登録された。
- ・手漉和紙業界から、最高級原料の「那須コウゾ」に匹敵する高品質なコウゾの栽培・生産に対する強い要望がある。
- ・美濃市内で生産されるコウゾは低品質で量も少ないうえに、今後、生産者の高齢化による原料供給体制の崩壊が危惧されている。
- ・県外生産地においても、生産規模の縮小が示唆されており、継続的なコウゾの供給は保証されていない。
- ・タイやパラグアイなどからコウゾを輸入することもできるが、海外産コウゾは品質が低いため、美濃の手漉和紙に適した原料を確保することは困難である。

(2) 事業内容

- ・全国のコウゾ産地の調査と原料入手を行い、美濃の地に最適な育成品種の選定と栽培を行う。
- ・栽培コウゾを原料とした紙漉きを行い、紙の物性評価・観察データと手漉き職人の感性評価をコウゾ選定に反映させる。
- ・コウゾ栽培にあたり、適切な施肥による栽培方法、及び脇芽の芽かき等の管理方法、挿し木による株の若返り手法を検討し、安定した栽培技術を確立する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・コウゾを生産する業者が減少して行く中で、岐阜県として文化的価値の高い美濃和紙を守っていくために、県が原料供給体制を維持するための事業を行う必要がある。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報酬	375	会計年度任用職員報酬
旅費	342	会計年度任用職員旅費、職員旅費（コウゾ生産地調査、学会参加）
需用費	824	各種消耗品の購入（コウゾ苗、コウゾ原料、薬剤、実験器具等）
委託費	1,000	紙漉き業者委託
備品購入費	198	研究に使用する備品の購入
その他	144	共済費、学会参加負担金
合計	2,883	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 美濃和紙に欠かせない『コウゾ』の品質の安定化・高品質化を図り、美濃和紙の生産基盤確保に貢献する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
技術移転の推進 (関連企業への技術移転)	-	3件	3件	3件	4件	75%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ○手すき体感のアンケート調査を行い、美濃楮の漉きやすさや和紙の外観は太子那須楮と同様に高い評価を得られた。 ○楮繊維の特徴を調べたところ、美濃楮と太子那須楮は繊維幅や繊維長分布が類似していることがわかった。 ○試験圃場の生育調査および収量調査を行い、生産組合と美濃市と収穫方法や加工方法の情報交換を行った。
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>コウゾを生産する業者が減少して行く中で、美濃和紙の技術の継承と発展に向け、県は地元美濃市と連携して引き続き技術の開発と移転に取り組む必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>研究課題の内容について、ヒアリングを行い本年度実施内容の確認を行うとともに、進捗確認を行ったところ、研究に着手し、予定通りの調査・検討を始めており、事業自体も周知が進んでいることから期待通りの効果が得られている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>研究課題に対する外部評価を実施することとしており、得られた意見に応じた軌道修正、および効率化を図る。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>本事業で得られた成果を美濃市内にあるコウゾ生産組合に技術移転しているが、コウゾ生産者の労働力不足が問題になっているため、省力的な管理方法を検討する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>業界からの相談・要望から得られたニーズに基づき、事業の方向性について、常に修正し課題解決に取り組む。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	